



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月14日 東

上場会社名 株式会社ジェイアイエヌ 上場取引所
 コード番号 3046 URL <http://www.jin-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 仁 (TEL) 03-5275-7001
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中村 豊
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績 (平成27年9月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	33,619	15.5	2,173	△11.4	2,097	△11.7	1,118	△10.0
27年8月期第3四半期	29,108	6.8	2,451	12.5	2,375	10.8	1,242	8.5

(注) 包括利益 28年8月期第3四半期 965百万円(△26.7%) 27年8月期第3四半期 1,318百万円(15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	46.63	—
27年8月期第3四半期	51.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第3四半期	25,704	14,562	56.7
27年8月期	24,661	13,979	56.7

(参考) 自己資本 28年8月期第3四半期 14,562百万円 27年8月期 13,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年8月期の連結業績予想 (平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	13.0	3,600	0.4	3,520	1.1	2,000	5.1	83.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年8月期3Q	23,980,000株	27年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	28年8月期3Q	3,491株	27年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年8月期3Q	23,976,509株	27年8月期3Q	23,976,509株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(4) その他注記情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年9月1日～平成28年5月31日）における国内の経済環境は、一部に弱さも見られるものの、企業収益の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、中国経済をはじめとした海外景気の下振れによる景気の下押しリスクの懸念により先行きは不透明な状況であります。

また、国内眼鏡小売市場（視力矯正眼鏡）は、国内消費マインドの悪化により、平成28年3月以降3ヶ月連続で前年同期比マイナスになる等足下は弱含みに推移しております。

このような市場環境の中で、当社グループでは、前連結会計年度より課題と認識しておりました商品戦略の再構築、店舗オペレーションの改善、MD（マーチャндаイジング）展開の変更等に取り組み、一定の成果は得られていると考えておりますが、いまだ道半ばといえます。

国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくためには、コミュニケーション戦略及び商品戦略の一層の強化が必要不可欠と認識しており、引き続きこれらの諸課題への取り組みを強化してまいります。

一方、グローバルでの成長を目指し、中国において積極的な出店の継続、台湾への新規出店の開始、米国の収益改善に向けた体制整備やショッピングモールへの出店検討等にも注力してまいりました。

また、平成27年11月には、革新的な商品として位置付けている「JINS MEME」（ジズ ミーム）を発売し、従来のアイウェア市場にとどまらず、テクノロジーを駆使した新しい市場の創造に挑戦しております。

店舗展開につきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店舗305店舗（出店22店舗、退店4店舗）、中国直営店舗71店舗（出店19店舗、退店2店舗）、米国直営店舗1店舗（出店なし、退店なし）の合計377店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高33,619百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益2,173百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益2,097百万円（前年同期比11.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,118百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

セグメント業績の概況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比につきましても前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメント別の売上高は、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	28,361百万円	84.4%	112.6%
海外アイウェア事業	3,028百万円	9.0%	164.2%
その他	2,229百万円	6.6%	107.2%
合計	33,619百万円	100.0%	115.5%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」の区分には、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等の収入が含まれております。

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、商品力、接客力が一定レベルにまで向上してきたことから、平成27年10月にクラシックシリーズに焦点を当てたキャンペーンを行うとともに、平成27年12月に従来の「JINS PC」をリニューアルして発売した「JINS SCREEN」(ジンズ スクリーン)のプロモーションをTVCMを中心に展開いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における既存店売上高は、前年同期に比べ6.4%増加(「JINS MEME」(ジンズ ミーム)を除く)いたしました。

一方で、「JINS MEME」(ジンズ ミーム)につきましては、その商品特性から開発費用や新しい市場の開拓を行うため必要となるプロモーション費用など、先行投資費用の計上により、営業利益の大きな押し下げ要因となりました。

店舗展開につきましては、郊外ロードサイド型店舗開発の成果が出始め、複合型ロードサイド店舗をオープンする等店舗数は国内直営店舗305店舗となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高28,361百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益2,297百万円(前年同期比2.0%減)となっております。営業利益が前年同期と比較して減少した要因は、「JINS MEME」(ジンズ ミーム)によるものであり、「JINS MEME」(ジンズ ミーム)を除く国内アイウェア事業では増益となっております。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国における当社グループのビジネスモデルの優位性は変わらず、同国における競合状況、出店環境等引き続き良好に推移し、順調に事業の拡大が続いており、黒字化の定着が図れたと認識しております。

また、米国においては、北米第1号店である旗艦店(カリフォルニア州サンフランシスコ市)において平成27年12月より店舗での検眼サービスを開始し、顧客の利便性の改善に取り組んだことで、売上に好影響を与えております。

しかしながら、米国の2号店以降の新規出店については、施工の遅れから、オープン日は当初予定より遅れており、米国事業の収益改善についても当初より遅れる見込みであります。

店舗展開につきましては、店舗数は海外直営店舗72店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高3,028百万円(前年同期比64.2%増)、営業損失233百万円(前年同期は営業利益33百万円)となっております。営業利益が前年同期と比較して減少した要因は、米国事業によるものであります。

なお、連結子会社であるJINS US Holdings, Inc.、JINS Eyewear US, Inc.は、前連結会計年度末より連結の範囲に追加したため、前第3四半期連結累計期間には、当該連結子会社の業績は含まれておりません。

〈その他〉

その他につきましては、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等の収入により構成されております。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ18店舗(出店3店舗、退店なし)、レディース雑貨専門ショップ23店舗(出店1店舗、退店3店舗)となりました。

以上の結果、その他の業績は、売上高2,229百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益109百万円(前年同期比47.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結 会計期間末 (平成28年5月31日)	増減	増減率(%)
総資産	24,661	25,704	1,042	4.2
負債	10,681	11,142	460	4.3
純資産	13,979	14,562	582	4.2

(イ)資産

流動資産は、12,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円減少いたしました。

これは主に、商品及び製品の仕入、法人税等の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、13,537百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,486百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が459百万円増加したこと、敷金及び保証金が293百万円増加したこと、「JINS MEME」アプリケーション開発等によりソフトウェア等の無形固定資産が412百万円増加したことによるものであります。

以上により、総資産は、25,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,042百万円増加いたしました。

(ロ)負債

流動負債は、7,573百万円となり、前連結会計年度末に比べ746百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が845百万円、未払消費税等が464百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3,568百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,206百万円増加いたしました。

これは主に、長期借入金が1,017百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、11,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ460百万円増加いたしました。

(ハ)純資産

純資産合計は、14,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円増加いたしました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,118百万円の計上があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期通期の連結業績予想につきまして、平成27年10月13日に発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成28年7月14日)発表の「平成28年8月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、本会計方針の変更等による損益に与える影響はありません。

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、本会計方針の変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,889	2,897
受取手形及び売掛金	2,686	2,810
商品及び製品	3,770	5,165
原材料及び貯蔵品	160	198
その他	917	950
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,424	12,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,808	6,193
その他(純額)	1,422	1,496
有形固定資産合計	7,230	7,690
無形固定資産		
無形固定資産	1,111	1,524
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,180	3,474
その他	528	849
投資その他の資産合計	3,708	4,323
固定資産合計	12,051	13,537
繰延資産		
開業費	185	144
繰延資産合計	185	144
資産合計	24,661	25,704

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,458	1,266
短期借入金	1,108	1,987
1年内返済予定の長期借入金	1,074	658
未払金及び未払費用	2,280	2,371
未払法人税等	1,128	282
資産除去債務	20	20
その他	1,248	985
流動負債合計	8,320	7,573
固定負債		
長期借入金	934	1,951
資産除去債務	202	198
その他	1,225	1,418
固定負債合計	2,361	3,568
負債合計	10,681	11,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	7,402	8,136
自己株式	△1	△1
株主資本合計	13,782	14,516
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	197	45
その他の包括利益累計額合計	197	45
純資産合計	13,979	14,562
負債純資産合計	24,661	25,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	29,108	33,619
売上原価	7,309	8,441
売上総利益	21,799	25,178
販売費及び一般管理費	19,347	23,005
営業利益	2,451	2,173
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	—	18
受取賃貸料	15	12
その他	6	18
営業外収益合計	22	51
営業外費用		
支払利息	38	65
支払手数料	17	17
為替差損	32	—
開業費償却	—	28
その他	9	15
営業外費用合計	98	127
経常利益	2,375	2,097
特別損失		
固定資産除却損	80	136
減損損失	7	—
店舗閉鎖損失	40	14
リース解約損	—	2
特別損失合計	128	153
税金等調整前四半期純利益	2,247	1,943
法人税、住民税及び事業税	854	743
法人税等調整額	150	81
法人税等合計	1,004	825
四半期純利益	1,242	1,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,242	1,118

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
四半期純利益	1,242	1,118
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	75	△152
その他の包括利益合計	75	△152
四半期包括利益	1,318	965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,318	965
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	25,184	1,843	27,028	2,080	—	29,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	31	0	31	—	△31	—
計	25,215	1,844	27,059	2,080	△31	29,108
セグメント利益又は損失(△)	2,344	33	2,377	74	—	2,451

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	28,361	3,028	31,390	2,229	—	33,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	72	—	72	—	△72	—
計	28,433	3,028	31,462	2,229	△72	33,619
セグメント利益又は損失(△)	2,297	△233	2,064	109	—	2,173

(注) 1 「その他」の区分は、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当社グループの報告セグメントは、事業部門別セグメントから構成されており、またそのほとんどを占める「アイウェア事業」を報告セグメントとしておりました。

しかしながら、海外出店等に伴う構成単位の変化に伴い、経営資源の配分の決定及び業績の適切な評価を行うため、当第1四半期連結累計期間より、当社グループではアイウェア販売を主たる事業として、「国内アイウェア事業」、「海外アイウェア事業」を主な報告セグメントとして区分することといたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(4) その他注記情報

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給与手当 5,461百万円	給与手当 6,595百万円
地代家賃 4,889百万円	地代家賃 5,813百万円
広告宣伝費 1,669百万円	広告宣伝費 2,027百万円